

連絡責任者のための 日常巡視点検のポイント



関西電気保安協会

事業所共通の巻

- ① 高圧引込線
- ② 高圧地中ケーブル
- ③ 高圧受電室
- ④ 高圧キュービクル
- ⑤ 屋側および屋外配線
- ⑥ 屋外照明器具
- ⑦ 分電盤
- ⑧ 屋内配線
- ⑨ 屋内使用場所
- ⑩ 常時監視装置等
- ⑪ 消防設備の電源
- ⑫ 消防設備の表示灯
- ⑬ 空気調節装置
- ⑭ 排水ポンプ
- ⑮ 発電機室
- ⑯ 事務所(1)
- ⑰ 事務所(2)
- ⑱ 従業員室・宿直室

1

高圧引込線

支線のゆるみ、電柱の傾斜、腕木・腕金の腐食・折損、碍子が亀裂・破損しているものはありませんか。また、樹木やつる草などが電線に接触するおそれはありませんか。これらはすみやかに改修が必要です。



2

高圧地中ケーブル

ケーブル埋設箇所の上に重量物を置いたり、その付近を土木工事などで掘削作業をしていませんか。管路が破損したり、掘削中にケーブルをひっかけて断線させ、大きな事故となることがよくあります。ケーブル埋設箇所には標識柱を立て、表示シートを埋設して注意を喚起することが必要です。



3

高圧受電室

受電室（電気室）の扉は確実に施錠されていますか。また内部や入口付近に物を置いていませんか。異音・異臭を感じることはありませんか。屋根瓦や窓ガラスが破損して、雨もりや雨の降り込むところはありますか。これらはすみやかに改修が必要です。

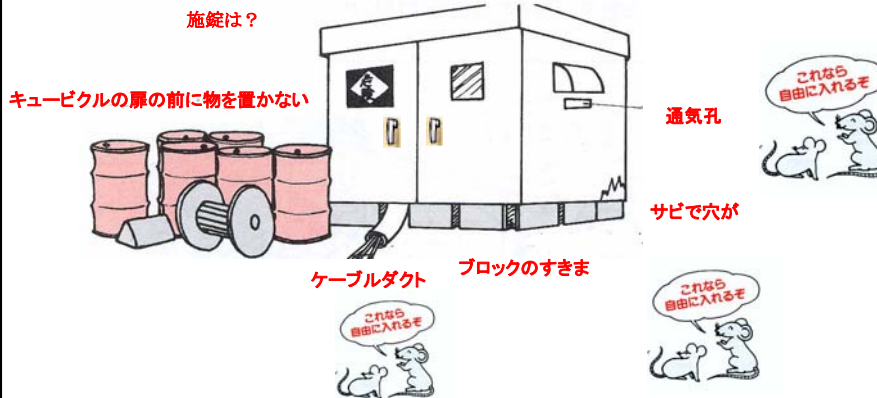
異音・異臭？



4

高圧キュービクル

キュービクルの扉は確実に施錠されていますか。入口付近に物が置いてあって、扉を開けられないことはありませんか。サビの発生がひどく、鉄板が腐食して雨などが浸入するおそれはありませんか。キュービクルの固定は完全ですか。配線用ダクトや金属管にすき間があいていて、小動物等が内部に侵入するところはありませんか。このようなところはすみやかに改修が必要です。



5

屋側および屋外配線

電線が樹木、電話線やテレビアンテナ、鯉のぼりなどの金属ポールに接近していませんか。また電線が垂れ下がったり、建物などに触れていませんか。強風でトタン板などが飛来して電線に接触しないよう、周辺を片付けておく必要があります。



電線に近づいた鯉のぼり

たれさがった電線

6

屋外照明器具等

スイッチは破損していませんか。照明用ブラケット、看板灯などの取り付けがはずれていませんか。ネオンサインがジージーという放電音を出していませんか。



こわれたスイッチ

取り付けが
はずれている

ジー
ジー

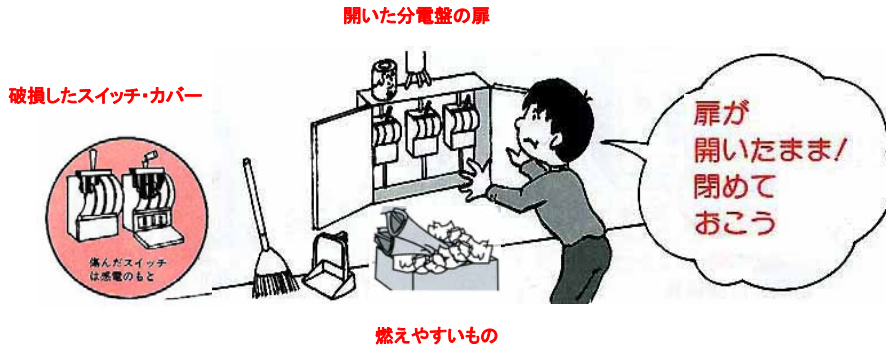
スイッチが
こわれて
いるよ!

あぶない!

7

分電盤

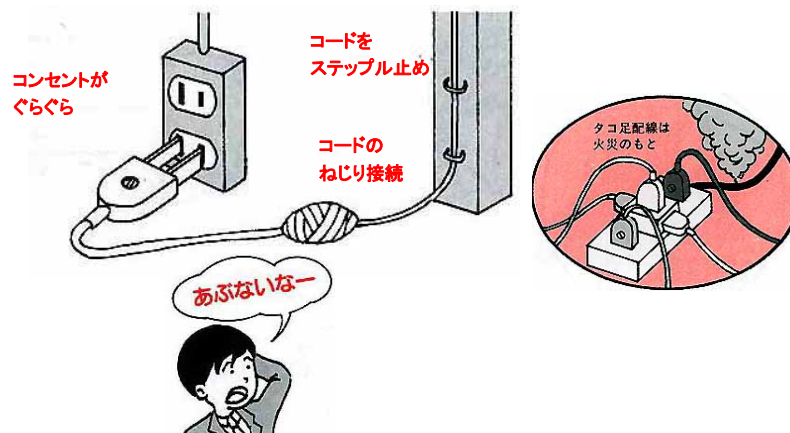
分電盤の扉は、操作を行なうときのほかは確実に閉めておきましょう。
上部や前面に物（特に燃えやすい物）が置いてありませんか。スイッチやカバーの破損しているものはありますか。



8

屋内配線

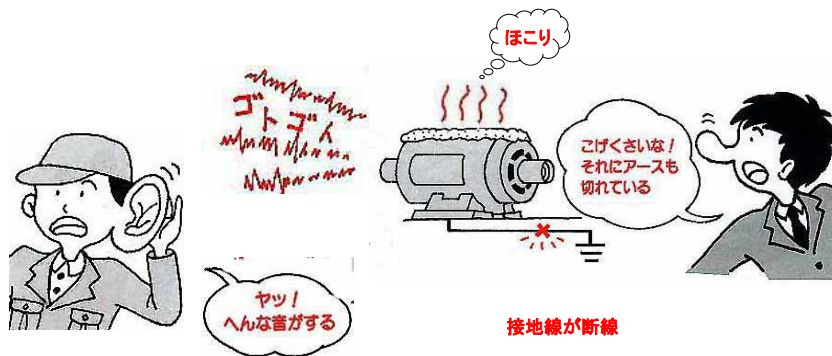
コンセントやプラグが破損していませんか。タコ足配線をしていませんか。
コードを柱や天井に釘やステッフルなどで止めていませんか。コードの被覆が破れていたり、コードをネジリ接続しているところはありませんか（接続にはコードコネクターを使用することが必要です）。



9

屋内使用場所

電気機器のアースは確実に取り付けられていますか。特にモータ、溶接機をはじめ電気洗濯機、電気温水器、電子レンジ、電気乾燥機、自動販売機などには、感電防止のためのアースが必要です。断線や締め付け端子のゆるみなどが無いかなど、必ず点検を行なってください。また、電気機器にホコリが積もっていると、過熱して火災となることがあります。巡視点検のときは異音・異臭がないか注意しましょう。

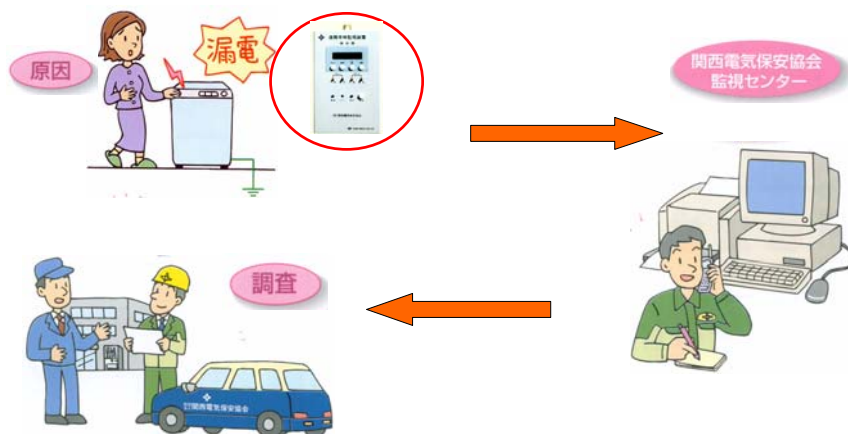


1

10

常時監視システム

常時監視装置は、低圧電気設備において微小な漏れ電流を検出し、保安協会の監視センターに自動通報します。常時監視システムは24時間、365日監視し、電気事故を未然に防ぎます。

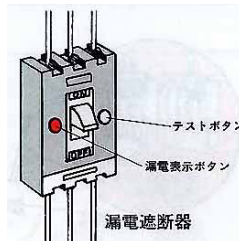
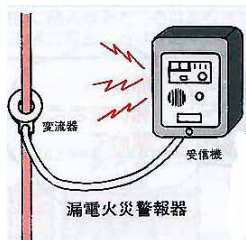


2

10

漏電火災警報器・漏電遮断器

漏電火災警報器の電源表示用ランプはついていますか、またベルは正常に鳴りますか。いざというときのために定期的にテストボタンを押してテストをしていますか。漏電遮断器が正常に動作するか、定期的にテストボタンで確認しましょう。



11

自動火災報知設備、屋内消火栓設備

自動火災報知設備や屋内消火栓設備は、消防設備点検資格者による点検が必要です。火災発生時に、警報が正常に動作しなかったり、消火栓の使用が円滑に行えなかったために、大惨事になった例は以外に多いので注意しましょう。



12

誘導灯、消火栓の表示灯

誘導灯、消火栓のランプが切れていたり、器具が破損していたり、していませんか。
ときには、非常用電源に切り替えてテストしておきましょう。
屋内消火栓設備の電源は、ときどき保守サービス業者に点検してもらうようになっていますか。



ランプが切れていては非常
の場合役にたちません

13

空調設備

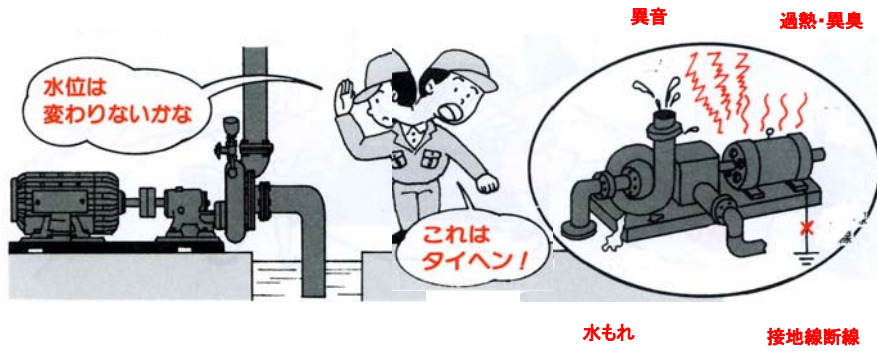
機械の音がいつもと違っていませんか。電流計の指示が平常と変わりませんか。
マグネットスイッチに異音・異臭を感じたり、いつもよりもひんぱんに入・切していませんか。



14

揚・排水ポンプ

機械音がいつもと違っていませんか。油、ニス、ビニールなどのこげのような臭いがしたり、モーターが過熱したりしていませんか。自動スタータ同一水位で動いていますか。



15

発電機室

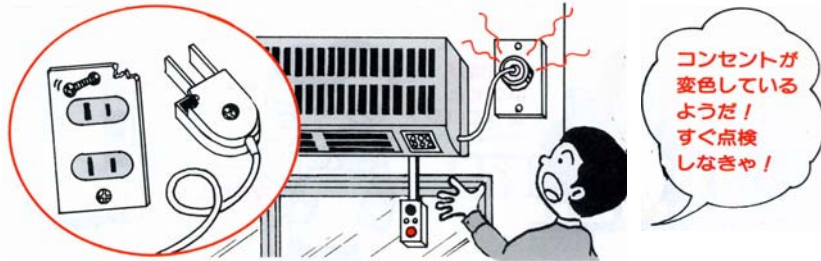
扉のカギは確実にかかっていますか。室内に必要以外のものを置いて運転に支障をきたしませんか。“いざ”というときのために、定期的に保守サービス業者に点検を依頼しましょう。



16

事務所(1)

スイッチ、コンセント、プラグなどが傷んでいませんか。電気を使用中にコンセント、プラグ、コードが熱くなるようでしたら、すぐ点検が必要です。



17

事務所(2)

コード類を人がふんだり、足をひっかけたりするような床にはわけていませんか。電気器具のコードをコンセントからはずすとき、コードを引っ張って抜いていませんか。




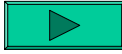






18

休憩室・宿直室

アイロンやヘアードライヤー、電気こたつ、電気あんかなどを使ったあと、コンセントに差し込んだままになっていませんか。使用後は必ずコードをコンセントから抜くよう、習慣をつけましょう。
電気器具類が、テーブルタップなどで、むやみに多く使用されていませんか。



日常巡視点検のポイント

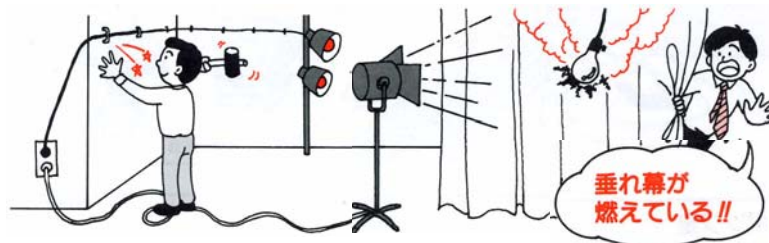
- 学校の巻 
- 病院の巻 
- マーケット・百貨店の巻 
- ホテル・旅館の巻 
- 変更工事の巻 
- 電気溶接作業の巻 
- 危険物取扱場所の巻 
- おわり 

学校の巻

- ① 講堂・体育館
- ② 廊下・教室(実験室)
- ③ クラブ室
- ④ プール
- ⑤ ポンプ室
- ⑥ 揚・排水ポンプ

1 講堂・体育館

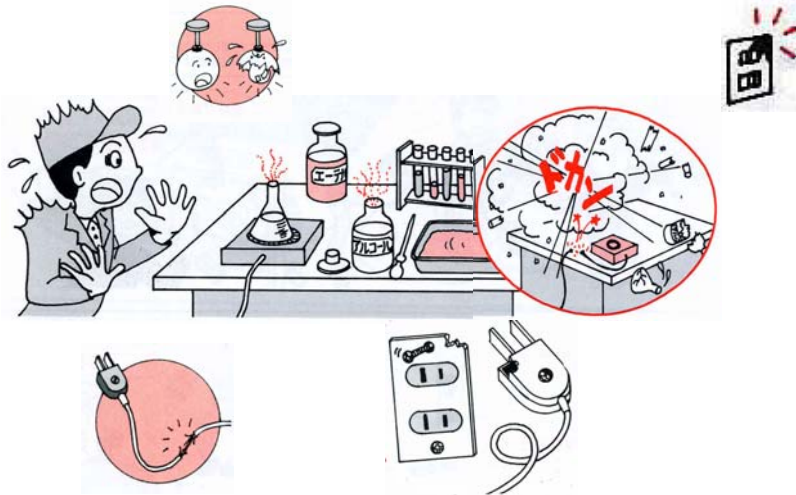
白熱電球が垂れ幕・カーテンなど燃えやすい布類・紙類に触れたり近づいたりしていませんか。コード類を床や、柱などに留め金具で打ちつけていませんか。一般に講堂や楽屋裏は、マイクとか照明などの配線が乱雑になりがちですので注意が必要です。



2

廊下・教室(実験室)

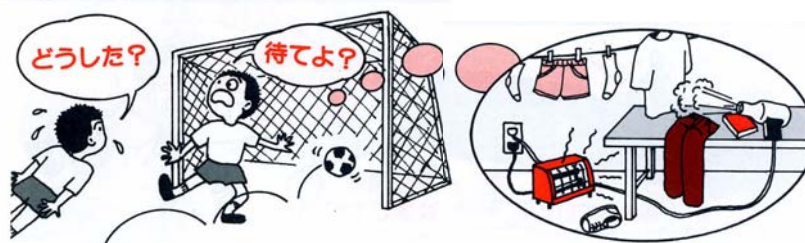
電気器具やコード、スイッチ、コンセント、プラグ等が傷んでいませんか。
また、実験に使う電気機器の近くに引火性の薬品を置いていませんか。



3

クラブ室

照明器具やコンセントに破損したものはありますか。ヘアド라이어やヒーターなど、熱を発生する電気器具をコンセントに差し込んだまま放置していませんか。



4

プール

電気機器に取り付けている接地線が外れていませんか。
水中照明器具にサビが出ていたり、電球受口が破損していませんか。
プール使用開始前には必ず漏電遮断器のテストが必要です。



5

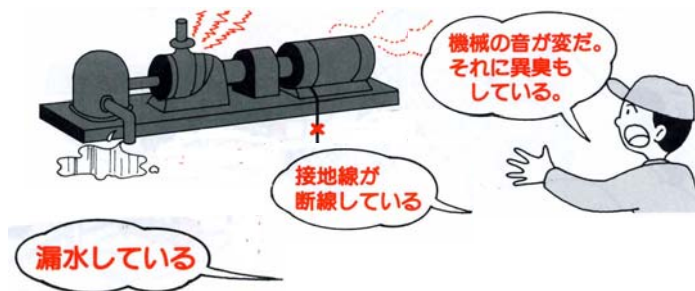
ポンプ室

ポンプ室の扉のカギはかかっていますか、また、カギがこわれてはいませんか。扉にカギがないと、生徒たちが入って、思わぬ災害を起こすことがありますから、カギがかかるよう直しておきましょう。
手元開閉器が破損していると、漏電や感電の原因になります。またスイッチが不完全な投入になっておきますと過熱して火災事故になることもあります。すぐ直しておきましょう。



6**揚・排水ポンプ**

異臭（絶縁物が焦げるような臭い）を感じたり、ポンプの機械音が、平常と違っていませんか。またポンプや配管から漏水していませんか。モータに取り付けられている接地線が、外れていませんか。水を使う場所の漏電は、大変危険です。接地線の断線や外れはすぐ直して、安全に使用するようにしましょう。



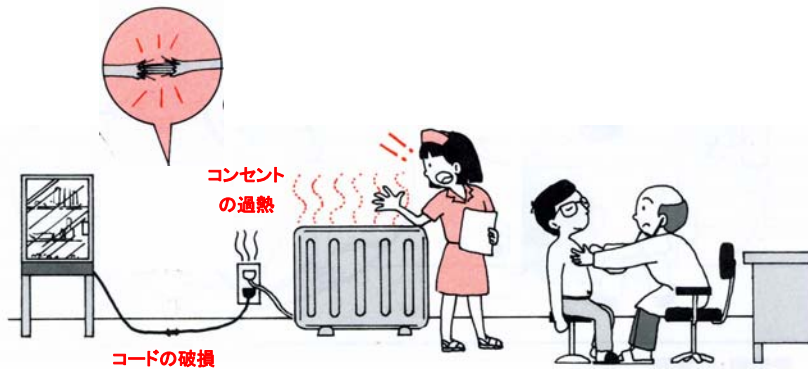
病院の巻

- ① 診療室
- ② 病室(1)
- ③ 病室(2)
- ④ 手術室・レントゲン室
- ⑤ 洗濯場・乾燥室
- ⑥ 非常灯・誘導灯など

1

診療室

滅菌器など診療用電気機器のコードが傷んでいませんか。また接地線の取り付け部がゆるんだり、外れたり断線していませんか。スイッチやコンセントが過熱していませんか。



2

病室(1)

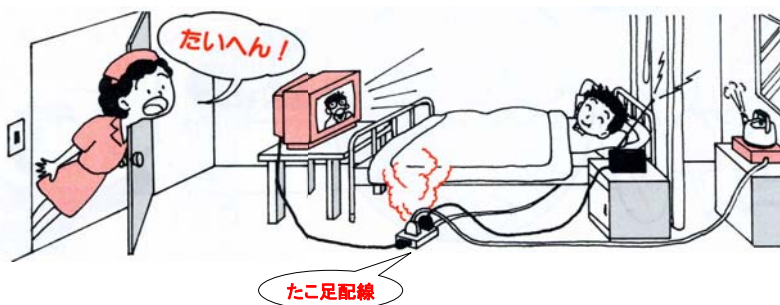
呼び出しボタンなどのコードが傷んでいませんか。
電灯、スイッチ、コンセントなどで破損しているものはありませんか。



3

病室(2)

患者の持ち込み電気機器に不良品はありませんか。不良機器を使いますと、停電したり、感電や漏電火災などが発生することがあります。
テーブルタップなどを使って多数の機器をタコ足配線していませんか。



4

手術室・レントゲン室

電気医療機器のコードが傷んでいたたり、接地線が外れていませんか。また、仮配線をしていませんか。短期間の臨時配線だと思って放置しますと、思わぬ事故が起こります。床面の水洗などでコンセントやコードに水がかかることはありませんか。



5

洗濯場・乾燥室

洗濯機や乾燥機のコードが傷んでいたたり、接地線が外れていませんか。裸電球や蛍光灯器具に衣類がふれていませんか。電気アイロンをつけばなしにいませんか。



接地線のはずれ

6

非常灯・誘導灯など

非常出口などの標示灯が消えていたり、破損していませんか。非常用照明灯は、非常電源に切り替えてみて点灯しますか。電灯分電盤の扉はきちんと閉めて、施錠していますか。



マーケット・百貨店の巻

- ① 売場(ショーケースの配線①)
- ② 売場(ショーケースの配線②)
- ③ 売場(模様替え)
- ④ 仕入商品倉庫
- ⑤ 屋上(遊戯用電動機器・自動販売機)
- ⑥ 改造・改装工事

1

売場(ショーケースの配線①)

一つのコンセントにタコ足のようになんか複数のプラグを差し込んで使っていませんか。コードや電線を足にひっかけたり、ふんだりしていませんか。



2

売場(ショーケースの配線②)

損傷したり、被覆が破れたコードや電線をショーケースなどに使っていませんか。床にはわたせた電線を保護するカバーがこわれているか。



3

売場(模様替え)

売場の模様替えのとき、コードを傷つけたり配線をゆるめたりしていませんか。コンセントが破損したり、コンセントに物や塵がはさまったまま使っていないか。物や塵が挟まると熱をもち、ショートするなど火災の原因になります。また破損したものは感電や漏電とが火災が起こりやすくなります。すぐに取り替えましょう。



4

仕入商品倉庫

コードを釘にかけたり、巻きつけたりして被覆が傷んでいませんか。白熱電球が繊維や紙などに触れていませんか。コンセントやブラケットが破損していませんか。分電盤の前に荷物を積んでいませんか。



5

屋上(遊技用電動機器・自動販売機など)

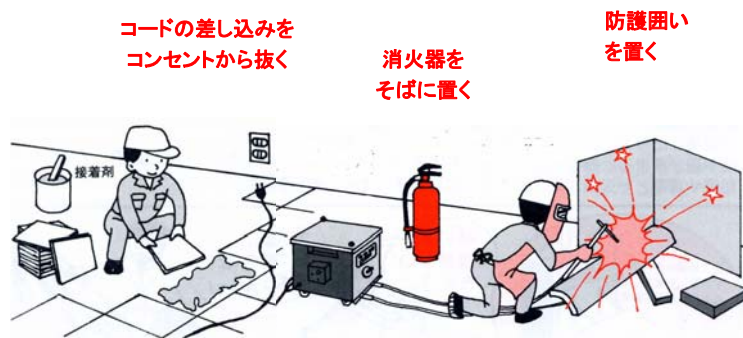
金属部分のアース線が外れていませんか。スイッチのカバーが破損していたり、電線の被覆が損傷して、充電部分が露出していませんか。



6

改造・改装工事

仮配線をむやみに床面にはわせていませんか。
溶接機を使用する場合は、火の粉による火災防止のため周りを囲い、消火器を用意しましょう。
床のPタイル張り替え作業の場合は、コンセントへの差し込みは抜いておきましょう。



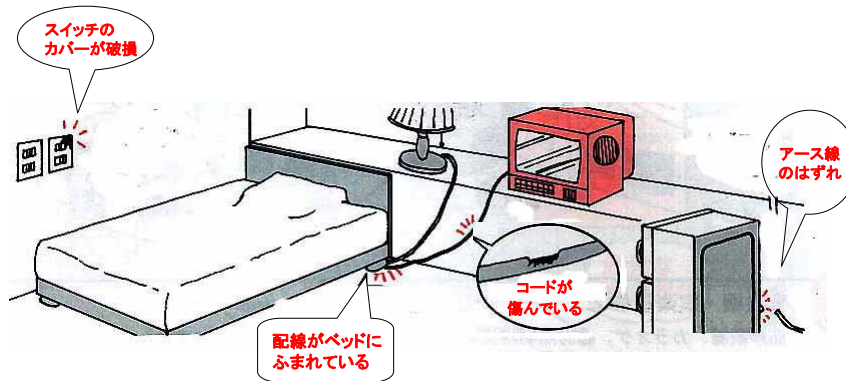
ホテル・旅館の巻

- ① 客 室
- ② 浴 場
- ③ 調 理 場
- ④ 自動販売機など
- ⑤ 宴会場・娯楽室など
- ⑥ 庭園灯・屋外配線器具

1

客室

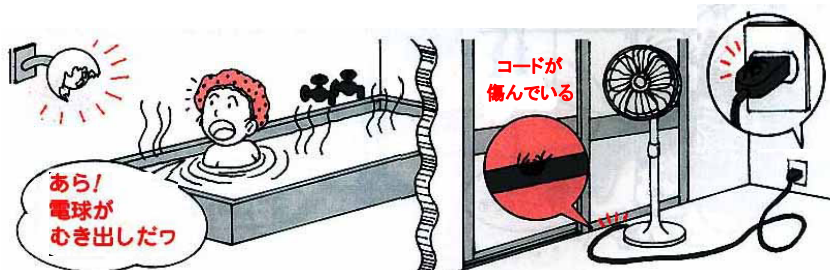
スイッチやコンセントなどのカバーが破損していませんか。スタンドやテレビ、冷蔵庫などのコードの被覆やプラグが傷んでいたり、アース線がはずれていませんか。



2

浴場

湯気の立ちこめる浴場などの電灯には密閉型のグローブを使用していますが、これがこわれていませんか。脱衣室にある扇風機やマッサージ機のコードやプラグが傷んでいませんか。



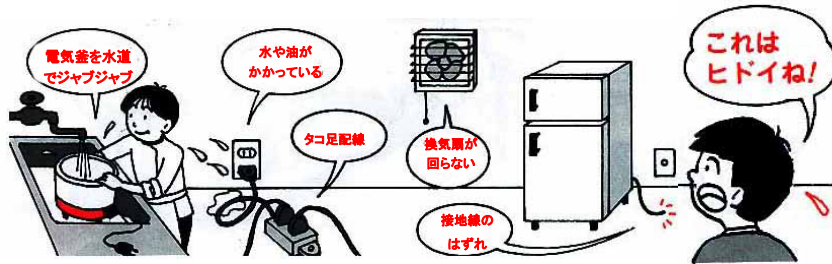
3

調理場

電気冷蔵庫、食器洗浄機などの接地線が、はずれたり切れたりしていませんか。コードやコンセントに水や油がかかっていませんか。水気の多い場所で使用する電気機器には漏電遮断器の設置が必要です。



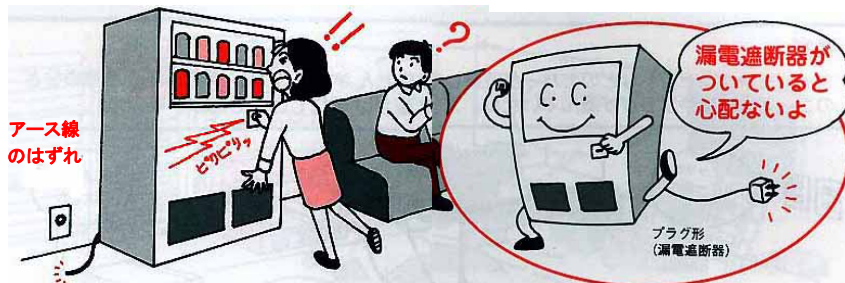
必ず漏電遮断器を取り付けましょう



4

自動販売機など

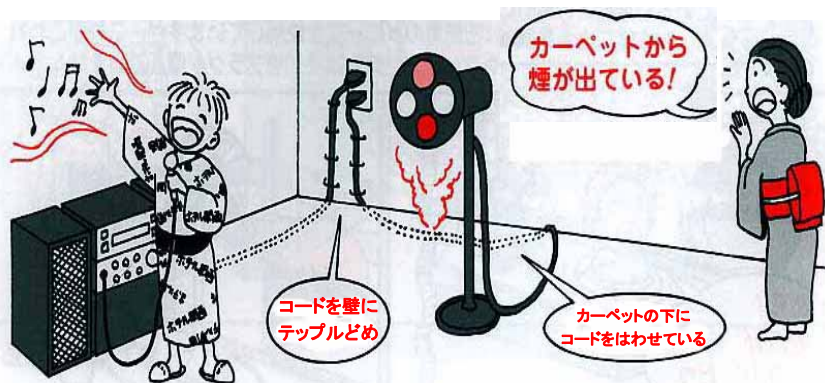
自動販売機の金属部分のアース（接地）線がはずれていませんか。感電を防ぐため必ずアース線を取り付けましょう。



5

宴会場・娯楽室など

拡声装置、カラオケ、臨時照明器具などのコードやプラグが傷んでいませんか。またコードをカーペットや畳の下にはわせたり、床や装置に釘やステッブルを打ちつけて固定していませんか。



6

庭園灯・屋外配線器具

庭園灯が転倒したり、地中に埋設している配線が傷んでいませんか。また、屋外に取り付けのコンセントやスイッチのカバーが破損していませんか。



変更工事の巻

- ① 臨時配線
- ② 移動用電気機器
- ③ 工事用分電盤
- ④ 移動用照明灯
- ⑤ 掘削機など
- ⑥ 長尺物の運搬

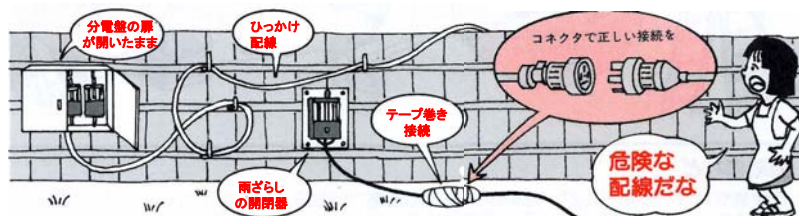
1

臨時配線

工事用の臨時配線や器具に不良箇所がありませんか。短期間の臨時施設では漏電による感電災害がよく発生しますので、必ず漏電遮断器を取り付けましょう。



必ず漏電遮断器を取り付けましょう



2

移動用電気機器

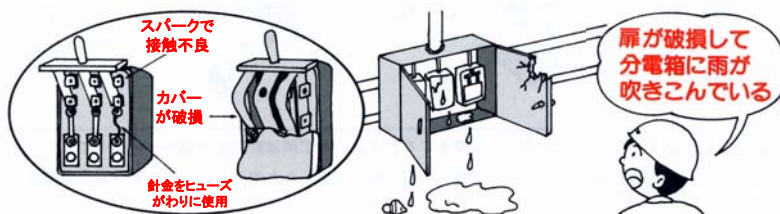
ベルトコンベアー、コンクリートミキサー、電気ドリル、溶接機、パイプレーターなど、現場で使用する機器にはアース線を取り付けていますか。使用前にはアースがついているか必ず確認しましょう。安全のため漏電遮断器の取り付けも必要です。



3

工事用分電箱

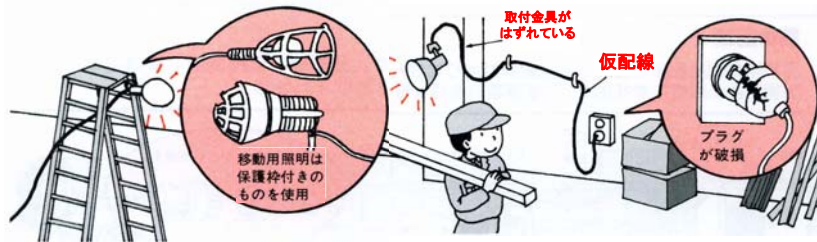
扉が破損し、雨が吹き込んだりしていませんか。扉は確実に閉め、できれば施錠しておきましょう。スイッチやコンセントが破損していたり、接触不良になっていませんか。ヒューズは適正容量のものが使われていますか。電線や針金をヒューズ代わりにするのは危険です。



4

移動用照明灯

移動用の照明灯は、電球防護枠付きのものを使用していますか。照明器具やコンセントが破損していたり、取付金具がはずれていませんか。そのままにしておくと、感電したり漏電を起こすことがあって危険です。



5

掘削機など

掘削機やパワーショベルが、地中のケーブルを傷つけたりひっかけたりして、大きな事故を起こすことがあります。ケーブルの埋設場所を図面・埋設標示で確認しましょう。また、パワーショベル運転時は、上部の電線にも注意が必要です。



6

長尺物の運搬

鉄骨や金属パイプなど長尺物を運搬するときは、充電部に接近しないよう注意が必要です。「頭上注意」の標識をつけ、分電箱の扉は必ず閉めておきましょう。



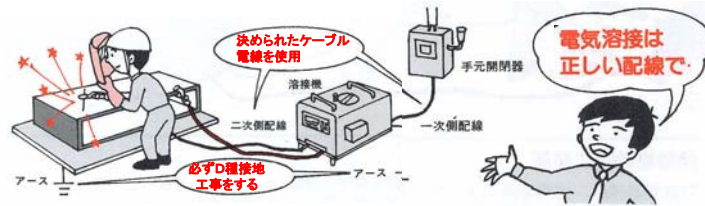
電気溶接作業の巻

- ① 電気溶接機(1)
- ② 電気溶接機(2)
- ③ 配線(1)
- ④ 配線(2)
- ⑤ 自動電撃防止装置
- ⑥ 防護具

1

電気溶接機(1)

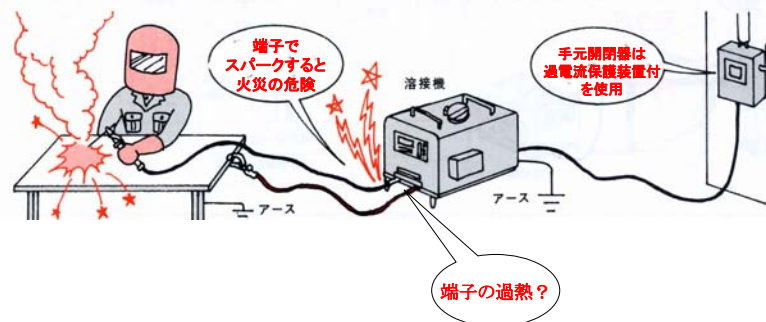
溶接機の二次側配線は、溶接用として決められたケーブル電線が使用されていますか。溶接機本体と、被溶接材またはこれを保持する装置の金属体には、アースが確実に取り付けられていますか。



2

電気溶接機(2)

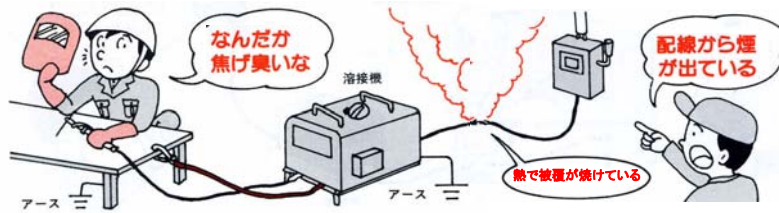
溶接機の接続端子が使用中に過熱したり、火花が出たりするようなことはありませんか。火災や停電事故の原因になります。また、手元開閉器は容易に開閉できる近い場所に取り付けられていますか。手元開閉器は過電流保護装置付を設置するのが適しています。



3

配線(1)

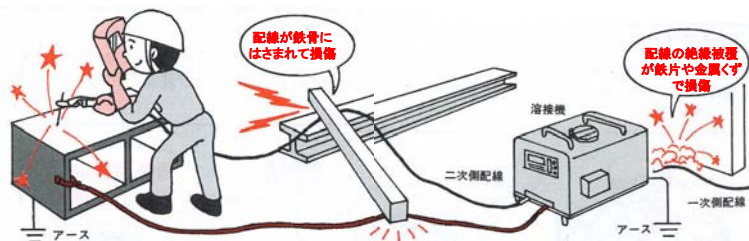
溶接機にいたる配線やキャブタイヤケーブルが傷んでいませんか。電気溶接機には大きな電流が流れるのでその配線は熱をもっており、絶縁被覆は傷がつきやすくなっています。ショートしたり、漏電して感電や火災の原因になって危険ですから、すぐ改修しましょう。



4

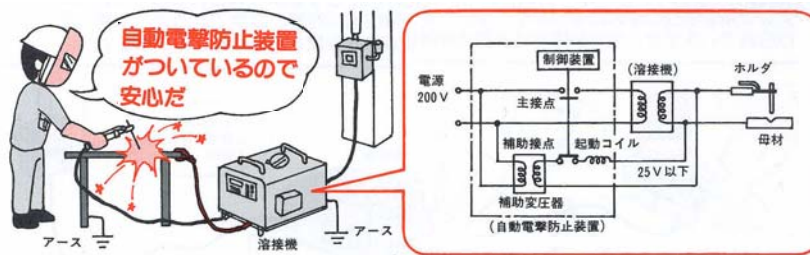
配線(2)

溶接機の周辺に鉄片や金属屑などがたまっていないか。これらを放置しておくと、機械の振動で絶縁被覆が損傷し、漏電するおそれがあります。また溶接機の二次側配線を金属材料の上に乗せておくと、配線の移動時や材料の積み降ろしのときに配線を傷つけます。



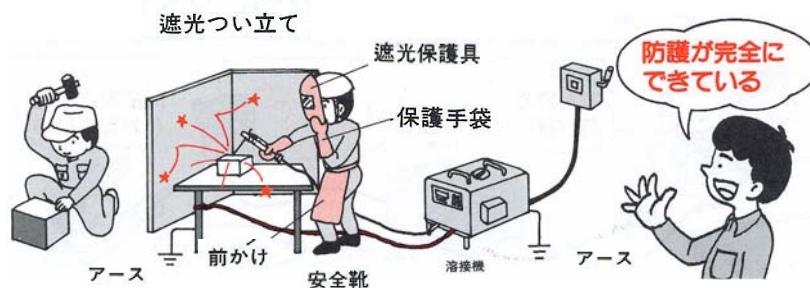
5 自動電撃防止装置

電気溶接機は、使用場所によって「自動電撃防止装置」付きのものでない場合があります。高さが2m以上の場所で鉄骨など導電性の高いものに触れる恐れのあるところ、ボイラーの胴やタンクの内部、船舶の二重底等、導電体に囲まれ、著しく狭いところで溶接機を使用するときは、自動電撃防止装置が必要です。



6 防護具

作業者の安全用の遮光保護具、保護手袋、腕カバー、前かけ、足カバー、安全靴など、溶接作業用の保護具を確実に使用していますか。また周囲の作業者保護のため、遮光幕やついでを設置していますか。



危険物取扱場所の巻

- ① 油槽所・油貯蔵所
- ② 煙火工場(原料配合室)
- ③ 煙火工場(製品乾燥室)
- ④ 可燃性ガス発生場所

1 油槽所・油貯蔵所
スイッチが破損したり、過熱していませんか。照明器具や点滅器などが破損したり、はずれそうになっていませんか。モーターが過熱していたり、異音・異臭を発生していませんか。



2

煙火工場(原料配合室)

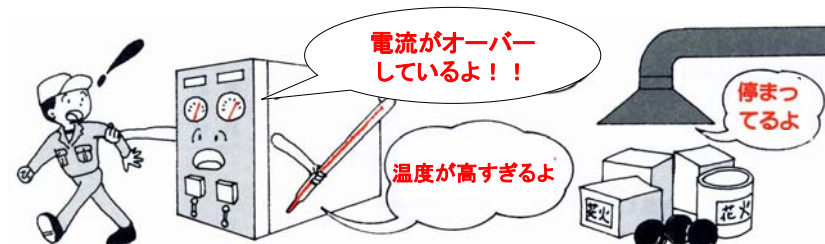
モータが手で触れられないほど過熱していたり、異音・異臭を発生していませんか。モータ室と配合機室との隔壁が破損していませんか。スイッチが破損したり過熱していませんか。スイッチやモータの周辺は常に清掃しておきましょう。



3

煙火工場(製品乾燥室)

乾燥機の電流計や温度計の指示が、平常と相違していませんか。送風機が異音の発生がなく正常に回転していますか。乾燥器やモータの配線がはずれていませんか。



4

可燃性ガス発生場所

(プロパンガスの移注・小分け作業、塗装工場、ラッカー・ワニスの調合箇所、ゴム糊での接着・乾燥工程、石油タンク・ガスタンクの内部など)

電気機器は耐圧・防爆構造のものを使用していますか。移動用電線は決められた性能以上のものを使用していますか。また電線は損傷していませんか。

